

会社概要

商号 株式会社浅田製作所
本社 大阪市天王寺区玉造元町18番20号
枚岡工場 大阪府東大阪市弥生町1番3号 TEL.072-982-0391 (代表)
敷地面積 2,706平方メートル (820坪) 建物面積 2,191平方メートル (664坪)

代表者 代表取締役 浅田 勝
原材料置場 大阪府東大阪市宝町1631番地
敷地面積 1,089平方メートル (330坪)

主要設備 連続抽伸機(2台)／単式引抜機(3台)／ドラム式伸線機(4台)
冷間圧延ロール(4基)／直線機(6台)／矯正機(4台)

創業 大正14年4月8日
会社設立 昭和30年1月8日
資本金 12,000,000円
目的 金属磨棒鋼の製作販売並びに下請加工・左記に附帯する一切の業務
主要取引先 株式会社シマノ／株式会社ダイニテック／鳥取ロブスターツール株式会社
橋本工機株式会社／株式会社エクセディ
取引銀行 三菱東京UFJ銀行 上本町支店／三井住友銀行 新石切支店

沿革

大正14年 4月8日 浅田末吉が東大阪市南荘町6番4号において浅田製作所を創業し伸線と特殊異型みがき棒鋼を主とするみがき棒鋼の製造を開始

昭和16年12月 第1次企業整備令により、同業5社(浅田製作所、岡田製作所、中谷製作所、土本棒鋼所、高橋シャフト製造所)が企業合同し大阪磨鋼材合名会社を設立

昭和18年10月 第2次企業整備令により、株式会社矢倉商店を合併大阪磨シャフト有限会社(現・大阪磨シャフト株式会社)を設立

昭和24年 1月 大阪磨シャフト有限会社より当社のみ分離独立し東大阪市南荘町6番4号において元の浅田製作所として操業を再開浅田末吉に替わって、浅田石松が社長に就任

昭和27年 4月 設備拡充のため、現在地に工場を移転

昭和30年 1月8日 個人企業から株式会社に改組 資本金200万円

昭和33年10月 資本金を500万円に増資


昭和37年 2月 資本金を800万円に増資

昭和41年12月 資本金を1,200万円に増資

昭和58年 9月 浅田石松の死去に伴い、浅田勝が社長に就任

平成20年 4月 本社改装



 株式会社浅田製作所 本社 ●大阪市天王寺区玉造元町18番20号
枚岡工場 ●大阪府東大阪市弥生町1番3号 TEL.072-982-0391 (代表)

www.asada-mfg.co.jp

異 型 み が き 棒 鋼



株式会社浅田製作所

鉄をシェイプアップ。

創業85年の経験と独自の技術を活かし、優れた品質の製品をお届けしています。

製品案内

**多様な断面形状・素材に対応！
異型みがき棒鋼でコストダウンをお手伝いします。**

真直性、寸法精度、仕上加工の容易さに優れた引き抜きみがき加工は、素材を圧延により変形させる加工です。非切削のため、材料のコストと無駄をシェイプアップすることが可能です。なかでも、私どもが得意とする異型みがき棒鋼はどのような形状にも対応が可能で、活用用途は多岐にわたり、小ロット多品種にフルオーダーでお応えしています。

BAR to BAR

寸法：13.0~40.0mm
形状：異型・丸・六角・四角・平角

COIL to BAR

寸法：5.0~24.0mm
形状：異型・丸・六角・四角・平角

COIL to COIL

寸法：3.0~12.0mm
形状：異型・丸・六角・四角・平角



製造鋼種

◎一般構造用圧延鋼材 ◎機械構造用炭素鋼 ◎機械構造用合金鋼 ◎炭素工具鋼
◎合金工具鋼 ◎硫黄・複合快削鋼 ◎高炭素クロム軸受鋼 ※その他ご相談ください。

ご挨拶



代表取締役 浅田 勝

異型みがき棒鋼ひと筋です。

当社は大正14年(1925)に創業して以来、85年もの長きにわたって異型みがき棒鋼の製造ひと筋に歩んでまいりました。この間、戦争中の企業合同や戦後の分離独立を経ながら、その技術を研ぎ続け、さまざまな分野のお客様に高いクオリティのみがき棒鋼をお届けしてまいりました。その長い歴史の中で豊富な実績と独自のノウハウを築き上げ、現在は主に自転車部品を中心に自動車やマシン、工具、事務機、産業機械などに使われる異型みがき棒鋼を製造しています。

頑固一徹、地道にコツコツ。

当社は、高度な専門技術を有するネットワークが活用できる東大阪にこだわり、着実にコツコツと丁寧なものづくりに専念しております。いま持っている技術とノウハウを活かし、お客様の満足度をさらに高める製品にチャレンジすることで新しい価値を生み出していきたい。そして、「他では真似ができない、浅田ならではの品質」と言われる異型みがき棒鋼をお届けしたい。そのためには、地道に継続すること、そして常に挑戦することが大切だと考えています。